

明日へ。未来へ。そこにはいつもいくつもの〈想い〉がある。

「banromsai」

バーンロムサイ

手仕事が届ける未来。



東京・神楽坂のギャラリーでの展示販売会。孤児院や現地のものづくりの様子も、写真パネルで紹介した。

日本人の手で設立された、タイの孤児院。その運営を支えるブランドが「banromsai」だ。NPO法人「バーンロムサイジャパン」代表の名取美穂さんに、その歩みと想いをうかがった。

ガジュマルの木のよう

目に飛び込んでくるビビッドな色彩。手の込んだ刺しゅうや刺し子。思わず触れてみたくなるのは、今では希少になった手仕事の持つ力だろう。「このパステルは、タイ北部の少数民族の衣装をリメイクしたもので、母から娘へ代々受け継がれてきた伝統的な刺しゅうです」

そう目を細める名取美穂さん。タ

イの手仕事を生かしたもののづくりを柱に、母の名取美穂さんが設立した現地の孤児院を運営する。土地に根ざした文化を伝えながら、さまざまな事情で親と暮らせない子どもたちの生活・教育、さらには卒業生の経済的自立も支えている。

「バーンロムサイ」とは、タイ語で「ガジュマルの木の下の家」の意。「暑い日は日陰となり、雨の日には雨宿りができるガジュマルの木のように、安心して過ごせる場所に。そんな願いが込められています」

光と影のコントラスト

早くから自立を促されたという名取さん。「高校を卒業すると、学費がかからないドイツの大学に留学して、必死にアルバイトをしながらデザインの勉強をしました」と笑う。30年前、初めてタイを訪れ、その色彩や配色の美しさ、丹精込めた手仕事の数々に強く心を動かされた。「新鮮で、でもどこか懐かしい感じもして、ワクワクしたんです」

一方で、当時現地ではエイズが大流行しており、寺院には死を待つだけの人々が多数横たわっていた。光と影、その強烈な経験がその後の活動につながっていく。

親を亡くした子どもたちに心を痛めた母の美穂さんは、1999年、北部のチェンマイで孤児院を始め、名取さんはロゴマークやパンフレットのデザインを担うことに。

「最初はボランティアや寄付で運営していたのですが、それでは長く続かない。ならばと、少しずつものづくりを始めたんです」

現地には綿やヘンプといった良質な素材があった。北部には少数民族が多く、細やかな手仕事の技術も伝承されていた。それらをリデザインし、卒業生や地元女性の手で新たな雑貨や衣類に生まれ変わらせた。

作り手の想いをつなぐ

高島屋では20年以上前から、各店POPUPでの衣料品や雑貨の販売を通じて孤児院の運営を支援し



常に「ポジティブな方を選ぼうよ」と、母・美穂さんとともに困難を乗り越えてきたと語る、代表の名取美穂さん。「卒業生の元気な姿を見ると、ああ続けてきて良かったなあとの底から思います。なんとしてもこどもたちの居場所を守りたいんです」

てきた。

「お客さまの手仕事に対する興味は高まっています。手触りや着心地の良さに加えて、背景をお話すると一層興味を持ってくださいます。一つひとつにストーリーがあって、土地の人や作り手の想いがこもっている。身に着けることで、その想いをつなぐことができます。心地よく日々心豊かに暮らせると思うんです」名取さんの原動力は、孤児院から巣立ち、成長した卒業生の姿だ。「こどもたちの未来が開ける場を作りたいです。生きる糧を見つめられる場になれば、地域にとってもいい循環になると思います」その瞳は生き生きと輝いていた。



鮮やかな刺しゅう小物が目を引く。いずれも希少性の高い1点ものばかり。長く使ってほしいと、有料で修理も可能だ。

Information-

バーンロムサイ POP UP STORE

4月22日(水)～4月28日(火)
 / 柏店本館3階 POP UP SPACEふらり1
 5月27日(水)～6月2日(火)
 / 横浜店1階 正面特設会場
 6月24日(水)～6月30日(火)
 / 大阪店1階 グッドショックプレイス
 7月22日(水)～7月28日(火)
 / 日本橋店7階 SPACE7-①
 10月7日(水)～10月13日(火)
 / 玉川店本館3階 T-ステージ3
 11月25日(水)～12月1日(火)
 / 京都店本館1階 ゆとりむ特設会場



高島屋のサステナブル・アクション
TSUNAGU ACTION

「TSUNAGU ACTION」は、この地球を次の世代へ、未来につなげる今日の一歩にするため、高島屋がけん引役となり、ステークホルダーとともに取り組むサステナブル活動です。3つのテーマに基づき、一人ひとりができる具体的なアクションを提案しています。

PLANET 美しい地球と豊かな資源を、未来へ
SOCIAL 地域の伝統や文化を伝え、広げていく
PEOPLE すべての人々の自由と平等、笑顔に寄り添う